

SABO NEWS LETTER

第 58 号【発行日】平成 14 年 12 月 11 日（水）【発行】（社）全国治水砂防協会

目 次

1 . 目次 , 当面の行事予定	1
2 . 国土交通省砂防部長よりご挨拶	2
3 . 歴史的砂防施設の保存活用調査委員会の開催について	5
4 . 第 5 回「21 世紀の土砂災害対策を考える懇談会」の開催について	6
5 . 雲仙・普賢岳「無人化施工」・「砂防ソイルセメント」 の全国現地講習会の開催について	7
6 . 富山県氷見市谷屋地区地すべり災害	8
7 . 平成 14 年における土砂災害の概要（12/5 現在）	9
8 . 災害関連緊急対策事業の採択状況（12/5 現在）	10
9 . （社）全国治水砂防協会第 66 回臨時総会開催される	12
10 . 全国治水砂防促進大会開催される	13

ご質問 , ご意見、ご感想、記事の詳細内容等 , お問合せ先

社団法人 全国治水砂防協会

担当 宮内 , 小林 , 阿部 , 畑川 , 藤川

住所 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話 03-3261-8386 FAX 03-3261-5449 E-mail : kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください

<http://www.sabo.or.jp/>

皆様へ

砂防部長

岡本 正男

① 砂防の情報発信、世界へ国内へ

秋は各地で砂防の催し物が開かれました。

インター・フオリベント、新潟の砂防80年シンポ、静岡の砂防100年記念、火山砂防フォーラム、松川流路工竣工式、余延川激突竣工式等々、全国各地で多くのイベントが行なわれました。「砂防と治水」にこのような様子が伝えられると思います。

南木曾町の宮川議長さんが「この砂防堰堤が私の住む集落を救ってくれています。土砂流を食い止めてくれています。是非見て下さい」と熱い想いで誘われました。行きました。実感しました。正に両手を左右に大きく広げ、上流からの流出土砂をしっかりと抱え、下流の家屋を守っていました。嬉しかったです。

白馬村の福島村長さんは「戦争で父をなくし、洪水時は一軒一人の水防活動に必死に頑張った。大人になって石運びをし、指紋が消えるまで、洪水の度にやった。工事の完成で愛おしかった。じんとききました。さらに「平成7年の出水は、昭和34年の出水時の3倍位の雨量にもかかわらず全く被害がなかったのは砂防のおかげです」ともおっしゃいました。地域に安全と安心を提供する砂防事業は、地味ですが確実に働いています。華美にする必要は全くありませんが、地域の砂防堰堤や急傾斜の施設、地べり防壁工事が完成したら地域の人の参加を得て、砂防の話をする場を設けて、情報を発信して下さいが嬉しいです。

② 支援します。

11月 富山県氷見市で大規模な地すべり災害が発生しました。クラフの早期発見で避難ができ、人命に損傷はないものの家屋一棟が全壊しました。直ちに土木研究所の地すべり専門家を派遣しました。私達砂防技術者はプロです。どうかお困りの時は遠慮なく相談して下さい。今年の災害でも、国総研や工研の専門家は各地に飛んでもらっています。皆様を支援します。災害の緊急性に鑑み、超スピードで災害関連緊急地すべり対策事業で対応しています。

③ 地すべり巡視員

新潟県南木砂防課長から面白いデータをいただきました。昭和50年に県は地すべり巡視員制度を導入しました。その前後のデータです。

	死傷者数	家屋被害	発生件数
S24~S49	3.6人/年	59戸/年	61件/年
S50~H13	1.2人/年	10戸/年	118件/年

導入前26年間
" 後26年間

早期発見は氷見の地すべり災害を見ても大事です。砂防ボランティア、郵便局との連携、土砂災害110番、相互通報システム等の活用を。

④ ゼミになる砂防の知識 ― 世界遺産の砂防施設

厳島神社(広島県宮島町)が甚予地震による地盤の低下?で冠水騒ぎが起きていますが、その背後の紅葉谷(土石流危険渓流)が、神社の区域と併せて世界遺産に指定されています。昭和20年8月6日の原子爆弾の被災後14月17日襲来した秋島台風で1775人の方が犠牲となりました。紅葉谷にも土石流が発生し厳島神社に大きな

被害を与えました。

極力樹木を切らず現地の石を使い、コンクリート面が出ないようにしてつくられ、紅葉谷流路工は、地域の宝から世界の宝となって今世界遺産として未来に引き継がれています。

このような地域の宝である砂防施設を積極的に登録有形文化財にしようという施策を進めています。皆様の地えにあれば是非知らせて下さい。先人の災害との苦勞をキチリと残しておこうではありませんか。

⑤ 優勝

国土交通省でレクリエーション・ソフトボール大会が開かれました。河川局 Aチームとして、監督菊地砂防計画課補佐の下、8人の砂防部職員が参加し、2日間に亘って6試合行い、見事優勝しました。小生も初戦にだけ参加し、チームの勝利に貢献しました。???

国土交通省となり、初回目の大会であり、記念すべきものと想っています。砂防部が主力なので、賞状とカップは部長室に飾っています。連覇を目指します。

歴史的砂防施設の保存活用調査委員会の開催について

文 化 庁
国 土 交 通 省

「歴史的砂防施設の保存活用調査委員会」（第1回）が、文化庁と国土交通省の共催で次のとおり、開催されましたので報告いたします。

1. 委員会の目的

砂防施設の中には、歴史的価値を有するものが全国各地に点在しており、登録有形文化財への登録が進められているところです。そのため、その実態の把握とともに、歴史的砂防施設の適切な保存・活用及び周辺環境の整備について、考え方を示すことが必要になっており、この度学識経験者等からなる委員会を開催し、中山間地域活性化の推進に資するための、歴史的砂防施設の保存活用に関するガイドラインをとりまとめることとしたものです。

2. 第1回委員会の開催概要

日時：平成14年12月3日（火）13時30分

場所：砂防会館別館「六甲会議室」

議題：歴史的砂防施設の評価について など

3. 今後のスケジュール

平成14年度中に、3回程度開催し、ガイドラインの取りまとめを行う予定です。

当日の取材
同時配布

委員会冒頭の写真撮影は可能
文部科学記者会

問い合わせ先 文化庁文化財部建造物課 主任文化財調査官 大和 智 （内2794）
TEL 03-5253-4111(代表) 03-3581-4012(直通)
国土交通省河川局砂防部保全課 課長補佐 石塚忠範 （内36232）
TEL 03-5253-8111(代表) 03-5253-8496(直通)

第 5 回「21 世紀の土砂災害対策を考える懇談会」 の開催について

第 5 回「21 世紀の土砂災害対策を考える懇談会」が以下の通り開催されましたので、報告いたします。

日 時：平成14年12月9日（月） 13:00～15:00

場 所：国土交通省11階 特別会議室

住 所 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3

T E L 03-5253-8111（代）

議 題：最終報告（案）について

その他： 懇談会の冒頭の写真撮影は可能です。

懇談会終了後、議事概要（速報）をとりまとめの上、
配布予定です。

今回の検討を受けて、最終提言をとりまとめ12月を
目途に河川局長に提出していただく予定です。

問い合わせ先

国土交通省河川局砂防部

砂防計画課 課長補佐 板屋英治（内36142）

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3

TEL 03-5253-8111（代表） 03-5253-8467（直通）

雲仙・普賢岳『無人化施工』・『砂防ソイルセメント』
の全国現地講習会の開催について
～新工法の活用をめざして～

河川局砂防部保全課

雲仙・普賢岳において**我が国初**となる無人化施工による鋼製砂防堰堤の据付等の現地見学を含め、新工法である「**無人化施工**」及び「**砂防ソイルセメント**」を全国的に普及させるため現地講習会を開催します。

雲仙・普賢岳で開発された**無人化施工システム**は、人が近づけない危険な箇所でも**安全に施工**できるシステムで、これまでに有珠山噴火時等に使用された実績があります。

砂防ソイルセメント工法は、現地発生土砂とセメント等を攪拌・混合して構造物を構築する工法で、建設残土の発生の抑制、**コスト縮減**等に効果を発現しています。

記

- 1．開催日時： 平成14年12月10日（火）～平成14年12月11日（水）
- 2．開催場所： 島原市勤労者総合福祉センター
長崎県島原市平成町2-2
- 3．対象者： 全国の地方整備局・都道府県等における建設関係行政担当者
民間の建設技術者（定員500名）
- 4．主催： 国土交通省九州地方整備局
- 5．協賛： （財）先端建設技術センター （財）砂防・地すべり技術センター
（社）日本建設機械化協会 （社）建設電気技術協会
- 6．その他： 問い合わせ先
河川局砂防部保全課 企画専門官 ^{にし}西井 ^{ひろし}洋史
電話 代表：03-5253-8111（内線36-222）
直通：03-5253-8469

富山県氷見市谷屋地区地すべり災害

平成14年10月末から11月中旬における長雨

○富山県氷見市谷屋地内

発生日:平成14年11月16日

原因:長期間に及ぶ降雨

連続雨量 326mm

(10月26日～11月16日)

最大24時間雨量 70mm

(11月2日19時～11月3日18時)

最大時間雨量 8mm

(11月2日19時～11月2日20時)

地すべりの規模:幅200m、長さ100m

移動層厚20m

推定土量 40万m³

被害:河道への土砂堆積、道路、

家屋1戸全壊、寺別棟半壊

避難状況:16世帯76名(自主避難)

その他:国道415号通行止め



地すべり土塊の移動により倒壊した人家



上空より見た地すべり全景と倒壊した人家(赤丸)

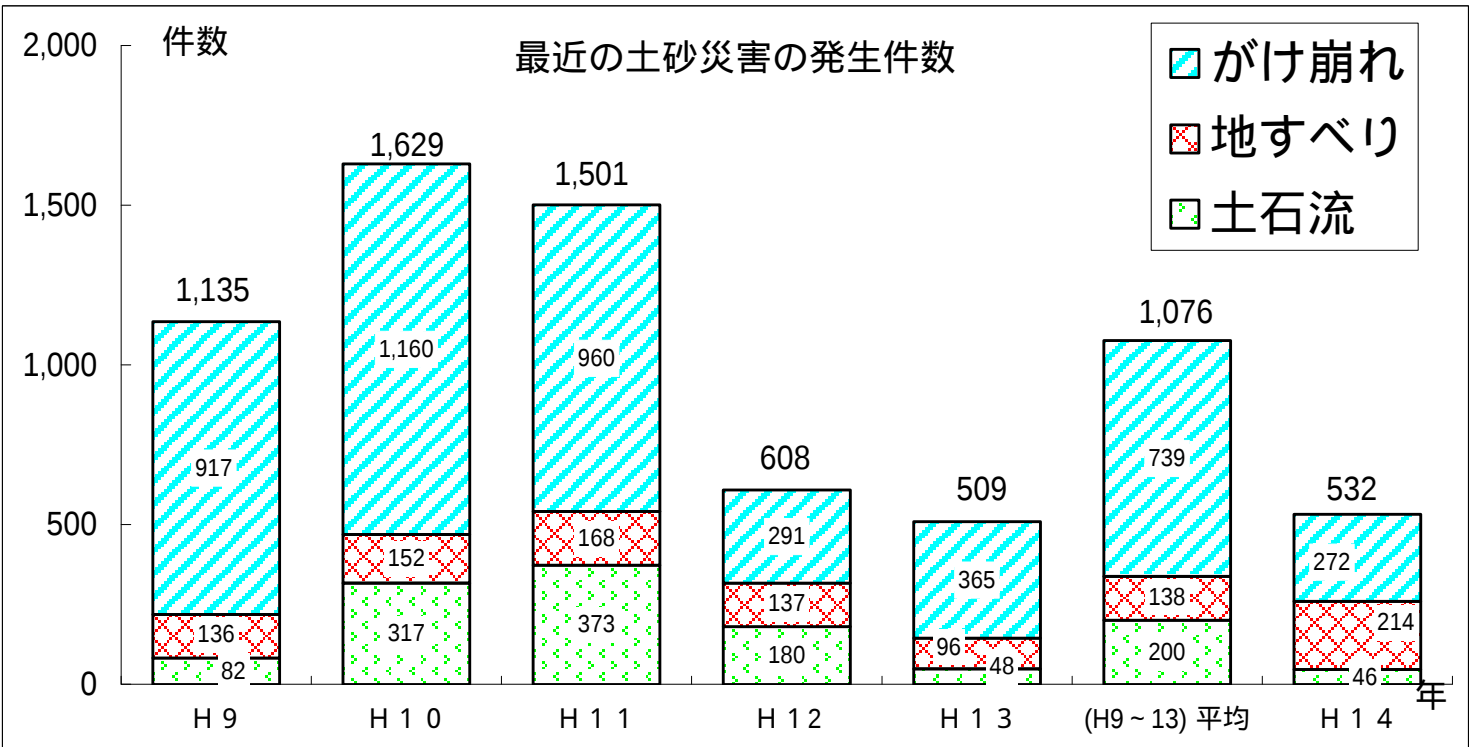
平成 1 4 年における土砂災害の概要

国土交通省砂防部保全課
平成14年12月5日 現在

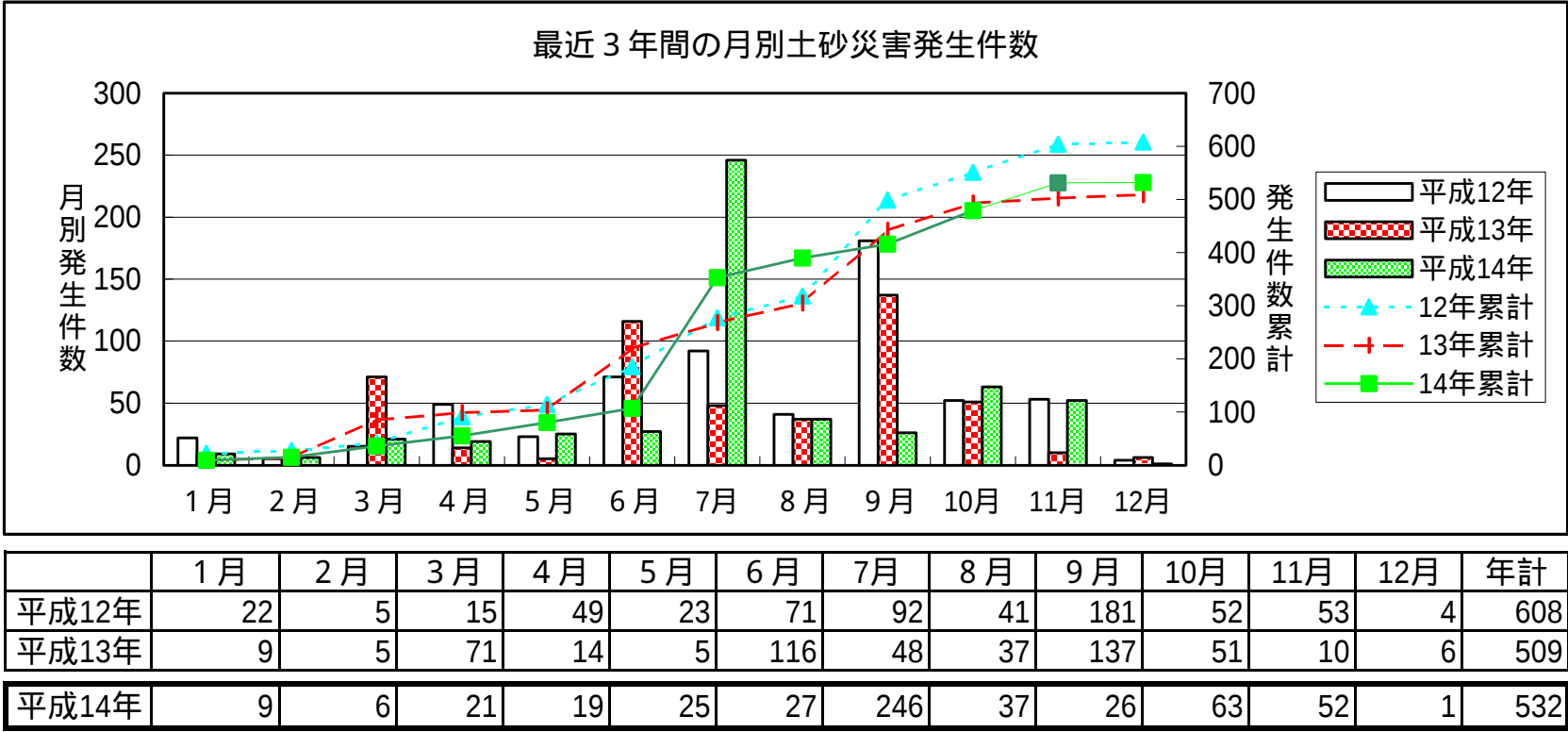
平成14年は 全国 42都道府県で 532件（土石流 46件、地すべり 214件、がけ崩れ 272件）の土砂災害が発生している。

被害状況のうち人的被害については死者4名（岩手県釜石市2名、広島県呉市1名、佐賀県伊万里市1名）である。

（参考 1 ） H14土砂災害と過去5ヶ年発生件数との比較



（参考 2 ） 最近3年間の月別土砂災害発生件数



災害関連緊急対策事業の採択状況（１）

平成14年12月 5日現在

平成14年 直轄河川等砂防災害復旧事業 採択箇所

No.	発生		災 害 発 生 箇 所				災 害 発 生 溪 流					備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	施設名	
1	7	10	栃木県	今市市		大谷向	1	利根川	鬼怒川	大谷川	今市下流流路工	
2	7	10	石川県	石川郡	白峰村	白峰	1	手取川	牛首川	牛首川	甚之助谷第26号Bえん堤	
3	7	10	新潟県	南魚沼郡	湯沢町	中子	1	信濃川	魚野川	魚野川	魚野川流路工	

平成14年 直轄砂防災害関連緊急事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流				備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	
1	7	10	岐阜県	揖斐郡	藤橋村	東横山	1	木曽川	揖斐川左支溪	木尾谷	

平成14年 災害関連緊急砂防事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流				備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名	溪流名	
1	3	19	兵庫県	宝塚市	切畑	長尾山					山林火災
2	7	10	岐阜県	郡上郡	大和町	河辺	他	木曽川	長良川	井寺洞谷	
3	7	10	岐阜県	郡上郡	大和町	島	他	木曽川	長良川	西根谷	
4	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	稲成	他	木曽川	長良川	枅形谷	
5	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	那比	他	木曽川	那比川	抜ヶ洞	
6	7	10	岐阜県	郡上郡	八幡町	小那比	他	木曽川	小那比川	河内谷	
7	7	11	岩手県	釜石市		松原町	2	甲子川	甲子川	松原の沢	
8	7	11	岩手県	釜石市		駒木町	2	甲子川	甲子川	駒木の沢(2)	
9	7	11	山形県	寒河江市		白岩	1	最上川	寒河江川	地福田沢	
10	7	16	山形県	鶴岡市		金沢	他			清佐エ門沢	
11	7	11	福島県	南会津郡	下郷町	小沼崎	1	阿賀野川	阿賀川	唐沢2号	
12	7	11	栃木県	阿蘇郡	田沼町	長谷場	他	利根川	旗川	上清水沢	
13	7	15	新潟県	佐渡郡	相川町	濁川町	2	濁川	濁川	茶ノ助沢	
14	7	17	三重県	員弁郡	藤原町	大貝戸	2	員弁川	真名川	西之貝戸川	
15	7	17	三重県	員弁郡	藤原町	坂本	2	員弁川	真名川	小滝川	
16	7	11	福井県	勝山市	北谷町	木根橋	1	九頭竜川	九頭竜川	滝波川	
17	8	19	東京都		三宅村		他			しらみ沢	
18	8	19	東京都		三宅村		他			鉄砲・夕景沢	
19	9	2	高知県	吾川郡	伊野村	是友	1	仁淀川水系	宇治川	是友東谷	
20	10	1	神奈川県	足柄下郡	箱根町	箱根	2	早川水系	須雲川	箱根唐沢	
21	10	1	静岡県	沼津市		内浦三津	他			三津久伏沢	
22	10	2	福島県	南会津郡	田島町	新町	1	阿賀野川	阿賀川	フタ沢	

平成14年 直轄河川等（地すべり）災害復旧事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流				備考
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	地区名	施設名	
1	7	11	福島県	耶麻郡	西会津町	新郷大字豊洲	1	阿賀野川	滝坂	沼田集水井群排水路	

平成14年 直轄災害関連緊急地すべり対策事業 採択箇所

No.	発生月日		所在地				読み		備考
	月	日	県名	郡市	町村	大字	読み	箇所名	
1	7	11	福島県	耶麻郡	西会津町	新郷大字豊洲	しんご	滝坂	たきさか

災害関連緊急対策事業の採択状況(2)

平成14年12月5日現在

平成14年 災害関連緊急地すべり対策事業 採択箇所

NO	発生日		県名	所在地			読み	読み	備考
	月	日		都市	町村	大字			
1	3	11	山形県	南陽市		金山	かねやま	板宮	いたみや
2	3	12	山形県	西村山郡	朝日町	大谷	おおや	仲丸	なかまる
3	3	19	秋田県	北秋田郡	森吉町	小又	こまた	下前田	しもまえだ
4	4	9	新潟県	新井市		長沢	ながさわ	中栗	なかぐり
5	4	9	富山県	上新川郡	大沢野	寺津	てらつ	横平	よこひら
6	4	15	新潟県	東頸城郡	浦川原村	谷	たに	細入	ほそいり
7	4	18	長野県	北安曇郡	小谷村	城	じょう	城	じょう
8	4	18	新潟県	北魚沼郡	入広瀬村	芋鞘新田	いもざやしんでん	芋鞘新田	いもざやしんでん
9	5	30	鹿児島県	鹿児島郡	十島村	中之島サツダ	なかのしまさつだ	中之島	なかのしま
10	7	10	群馬県	吾妻郡	中城町	蟻川	ありがわ	宇原野	うばらの
11	7	10	群馬県	利根郡	新治村	新巻	あらまき	鍛冶窪	かじくぼ
12	7	10	山梨県	南巨摩郡	身延町	和田	わだ	和田	わだ
13	7	11	静岡県	掛川市		上西郷	かみさいごう	滝之谷川	たきのやがわ
14	7	11	茨城県	久慈郡	金砂郷町	赤土	あかつち	前原	まえはら
15	7	11	奈良県	吉野郡	天川村	広瀬	ひろせ	広瀬	ひろせ
16	7	11	長野県	北安曇郡	池田町	豊盛	ほうせい	豊盛	ほうせい
17	7	11	栃木県	栃木市	鍋山町			山際	やまぎわ
18	7	15	新潟県	佐渡郡	相川町	小六町	ころくちょう	長坂	ながさか
19	7	15	富山県	氷見市		懸札	かけふだ	懸札	かけふだ
20	7	16	富山県	氷見市		三尾	みお	三尾	みお
21	7	16	山形県	最上郡	鮭川村	川口	かわぐち	上絵馬河	かみえまか
22	7	16	長野県	東筑摩郡	明科町	柏尾	かしお	柏尾	かしお
23	7	16	山形県	東置賜郡	川西町	玉庭	たまにわ	高野沢	こうやさわ
24	7	25	宮崎県	東臼杵郡	北方町	卯字池ノ本	うあざいけのもと	下崎	しもざき
25	7	25	宮崎県	南那珂郡	北郷町	北河内	きたかわうち	大戸野	おおとの
26	8	11	山形県	飽海郡	八幡町	下青沢	しもあおさわ	山添	やまぞえ
27	9	2	徳島県	三好郡	池田町	西山	にしやま	西山	にしやま
28	9	2	高知県	吾川郡	伊野町			藤ヶ瀬	ふじがせ
29	9	16	大分県	日田郡	中津江村			山の神	やまのかみ
30	10	2	新潟県	新井市		寸分道	すぶんどう	寸分道	すぶんどう
31	10	7	奈良県	生駒市	鹿畑町			鹿畑	しかはた
32	10	30	新潟県	栃尾市		一の貝	いちのかい	一の貝	いちのかい
33	11	8	新潟県	三島郡	出雲崎町	尼瀬	あませ	出雲崎	いずもさき
34	11	16	富山県	氷見市		谷屋	たにや	谷屋	たにや

平成14年 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	22	山形県	西田川郡	温海町	山ノ下	
2	3	27	山形県	最上郡	真室川町	新町	
3	5	3	長崎県	長崎市		江川(3)	
4	6	30	熊本県	牛深市		鬼塚(1)	
5	7	3	岐阜県	郡上郡	大和町	東内戸	
6	7	10	静岡県	静岡市		大岩芝欠	
7	7	11	神奈川県	秦野市		平沢小原	
8	7	11	山形県	寒河江市		白岩	
9	7	15	沖縄県	国頭郡		伊豆見	
10	7	16	新潟県	佐渡郡	佐和田町	上町	
11	7	11	岩手県	一関市		釣山	
12	7	10	山梨県	大月市	笹子町	吉久保	
13	7	16	山梨県	南巨摩郡	早川町	清岡	
14	7	11	宮城県	玉造郡	岩出山町	天王寺の1	
15	7	11	宮城県	桃生郡	河南町	山根の2	
16	7	11	宮城県	仙台市	青葉区	北根の1	
17	8	4	秋田県	能代市		山谷1号	
18	9	7	京都府	与謝郡	伊根町	西平田	
19	9	16	福岡県	北九州市		御開1丁目	
20	9	16	福岡県	朝倉郡	夜須町	森	
21	10	1	東京都	西多摩郡	瑞穂町	箱根ヶ崎	

平成14年 災害関連緊急雪崩対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	12	長野県	南安曇郡	安曇町	白骨	

（社）全国治水砂防協会第66回臨時総会開催される

当協会の第66回（平成14年度）臨時総会が去る11月26日、シェーンバッハ・サボーにおいて、会員2,286名（うち委任状提出者818名）が出席して開催されました。

綿貫民輔会長が議長席につき議事案件の審議に入りました。議案の監事の補選につきましては、提案の通り全会一致で議決承認され、臨時総会を閉会致しました。

監事の異動

（新任） 鈴 木 佑 （死亡） 藤 堂 定

（新任） 山 田 一 榮 （辞任） 赤 星 亮 一

全国治水砂防促進大会開催される ～活動方針・大会決議を採択～

本協会では、平成15年度予算編成に向けて、砂防関係事業の新規施策の実現と重点投資、配分が行われるように、中央、地方を通じて活発な活動を行って参りましたが、その集大成ともいえる「全国治水砂防促進大会」を11月26日午前11時より、砂防会館シェンバッハ・サボー「利根」で開催いたしました。

当日は、会員等2,000名余の出席のもと、衆・参の国会議員を始め、国土交通省関係者等多数のご出席をいただきました。

最初に綿貫会長が挨拶を行い議長席につき、青山俊樹国土交通事務次官から祝辞をいただきました。次に、会員代表者として、岩手県釜石市長・小野信一氏、奈良県宇陀郡室生村長・奥本昇氏の両名が意見発表をされました。小野氏からは、本年7月の台風7号で過去に例のない集中豪雨により2名の犠牲者を出した実情と、これを教訓として避難基準などのシステム、地域防災計画の見直し、災害対応マニュアルの作成への取り組み、また、砂防施設の効果を強く認識され、今後一層の砂防関係事業への痛切な願いを、また、奥本氏からは、台風等による風倒木とその後の2次災害防止対策や災害関連緊急地すべり対策事業を契機として、防災対策と併せて地すべり地を活用した「山の上のモニュメント」の整備を計画され、地域の活性化を図られていることや、土砂災害防止法への取り組みの重要性等について紹介が行われました。

その後、大塚副会長より今後の活動方針の提案が行われ、大久保理事長が決議を発表し、満場一致で採択されました。

会員を始め、国会議員、来賓等多数の方々のご出席により、本大会が盛会裏に開催することが出来ましたことを衷心より感謝申し上げます。

全国治水砂防促進大会 ご臨席国会議員

ご出席順

(衆)衆議院議員、(参)参議院議員

綿貫 民輔(衆) 斉藤斗志二(衆) 古賀 誠(衆) 松浪 健太(衆)
小坂 憲次(衆) 伊藤信太郎(衆) 後藤 博子(参) 田村 公平(参)
金子 恭之(衆) 森田 一(衆) 北村 誠吾(衆) 仲道 俊哉(参)
吉田六左エ門(衆) 竹下 亘(衆) 山下 英利(参) 大野 松茂(衆)
岩永 峯一(衆) 松宮 勲(衆) 西川 京子(衆) 菱田 嘉明(衆)
中谷 元(衆) 白保 台一(衆) 田野瀬良太郎(衆) 森岡 正宏(衆)
石田 真敏(衆) 谷田 武彦(衆) 狩野 安(参) 御法川英文(衆)
田中 和徳(衆) 高木 毅(衆) 村田 吉隆(衆) 下地 幹郎(衆)
古屋 圭司(衆) 大村 秀章(衆) 松下 忠洋(衆) 栗原 博久(衆)
山口 俊一(衆) 蓮実 進(衆) 大野つや子(参) 沓掛 哲男(参)
金田 勝年(参) 保岡 興治(衆) 太田 誠一(衆) 谷津 義男(衆)
田村 憲久(衆) 田村耕太郎(参) 仲村 正治(衆) 左藤 章(衆)
荒巻 隆三(衆)

なお詳細は「砂防と治水」149号(平成14年12月号)に掲載いたします。